

地方創生関係交付金事業評価シート

	担当課名	建設産業課	事業No.	1
事業名	社会・経済状況の変化に適應する「とくしま農林水産業」生産力強化戦略			
目的	県と農林水産物の6次産業化や輸出振興に取り組む市町村、産学金で設立した「とくしま六次産業化推進連携協議会」を核として、6次化商品の開発、販路開拓を図る。			
実施内容	にんじん需要拡大協議会で特産品の春にんじんの冷凍加工（ピューレ・千切り・いちょう切り・たんざく切り）の試作、アンケート調査を行った。学校給食への提供を定着させさらに販路拡大を図る。			
重要業績評価指標 (KPI)	指標	目標	実績	
	新規就農者数（累計）	6人（2015-2019） → 8人（2020-2024）	6人（2020-2021）	
	町内のすくもの製造量	1,400kg（2019） → 3,700kg（2024）	1,792kg（2021）	
	学校給食の地元産食材使用割合	44.0%（2018） → 50.0%（2023）	42.2%（2021）	
達成度	A：達成 B ：概ね達成 C：未達成			

【事業費と財源内訳】

（単位：円）

2021年度	計画額	実績額	交付金充当額	備考
事業費	1,000,000	1,000,000	500,000	事業費の1/2

【2021年度の取組と課題】

藍住町にんじん需要拡大協議会が独自でにんじんの加工について協議を重ねている。2021年度は春にんじんの冷凍加工の試作を行った。町内飲食関係者や保育所や高齢者施設、学校給食等にサンプルを配りアンケート調査を行った。単価については1kg550円（税込み）で協議しており、学校給食で提供していく予定。今後の取組としては、通年とおして利用できることと、単価を抑えるため、露地（夏まき）のにんじんでの冷凍加工も進めている。その場合は1kg350円（税込み）で協議していることから販路拡大も見込んでいる。

【今後の取組】

今後も、町特産のにんじんの6次化を進めるため、藍住町にんじん需要拡大協議会を中心に協議を重ねていく。町としても、6次化に取り組むきっかけづくりができるように、補助金制度を設けるなど支援の方法について検討する。
また、徳島県6次産業化戦略に基づき、とくしま六次産業化推進連携協議会と連携し、新商品開発、販路開拓、人材育成、農林漁業者と2次・3次事業者との交流を支援していく。

※藍住町地方創生推進会議の意見

・春にんじんの冷凍加工の試作を行ったとのことであるが、今後、学校給食での提供をはじめ、開発・販売についても、引き続き取組みを推進していただきたい。「6次化商品の開発」にあたっては、貴町のブランド品である「藍」、「ニンジン」等を国内外へアピールするため、開発した商品やイベントなどと、「藍住」もしくは「徳島・藍住」とを結びつけて知っていただく「タグ付け（関連付け）」が重要であるので、「2025年・大阪・関西万博」も見据えつつ、こういった視点についても考慮していただきたい。